

[抄録様式]

| 公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録 | |
|--|--|
| 1. 事業名： | 特別支援学校就業支援歯科保健推進事業 |
| 2. 申請者名： | 一般社団法人岩手県歯科医師会会長 箱崎 守男 担当者：一般社団法人岩手県歯科医師会専務理事 佐藤 保 |
| 3. 実施組織： | 事業実施者：一般社団法人岩手県歯科医師会 事業協力者：岩手県・岩手県教育委員会・岩手医科大学歯学部 |
| 4. 事業の概要： | ①支援学校連携協議会参加企業に対する支援 (1) リーフレット「歯と口の健康支援」の普及方法・関係機関への配布 (2) 歯科保健推進のための相談体制の検討 (3) その他、企業側からの相談に対応する窓口の設置 ②教材を活用した講習会、講演会の開催、 (1) 第 16 回岩手県歯科保健大会・フォーラム「歯と健康」における県民健康講座シンポジウムの開催 (2) 各地区歯科医師会での講演会の開催 ③特別支援学校への支援、 (1) 特別支援学校学校歯科医への支援 (2) 学校、保護者への啓発普及事業 |
| 5. 事業の内容： | (1) リーフレット「歯と口の健康支援」(1, 500部)を作成し、県民及び関係機関への配布 (2) 歯科保健推進のための相談体制の確立 岩手県内 37 市町村の特別支援学校支援歯科保健の窓口として、本会の 13 地区歯科医師会を相談窓口として体制を確立した。 (3) その他、企業側からの相談に対応する窓口の設置 県内事業所における特別支援学校生徒の雇用の際の歯科健診並びに歯科保健指導等の相談窓口を本会に設置した。 (4) 教材を活用した講習会、講演会の開催、 第 16 回岩手県歯科保健大会・フォーラム「歯と健康」における県民健康講座シンポジウム並びに各地区歯科医師会での講演会を開催し、障がい児(者)に対する取組をリーフレット「歯と口の健康支援」で啓発普及を行った。 (5) 特別支援学校学校歯科医への支援並びに学校、保護者への啓発普及事業 特別支援学校生徒の口腔の健康保持・増進を図るため学校歯科医への支援策として、研修会の場を設けた。また、リーフレット「歯と口の健康支援」を活用し、学校、保護者への啓発普及事業を行った。 |
| 6. 実施後の評価(今後の課題)： | 特別支援学校、同学校高等部卒業予定生徒、保護者および同高等部就職支援のための連携協議会参加企業に対する歯科保健指導および啓発事業により、特別支援学校卒業生の歯科保健の維持・増進を図ることが出来た。かつ、8020 推進財団事業が入口となって、新たな財政支援制度に伴う新基金に係る財団事業の継続が可能となった。財団における歯科保健推進そのもののみならず、国が進める事業においては、特にも新たな事業においては 8020 推進財団による歯科保健事業が、新たな基金等への継続する入口になったことは大きな成果と考える。 なお、特別支援学校における歯科保健については、現場の努力が成果を挙げていると思われる一方で、今後の課題として就労者における歯科保健の重要性、が認識され、生涯のある若者が健康で働くことのできる環境づくりが課題である。 |

